

第7回江東区都市計画マスタープラン 2022 推進会議【会議録】

| | | | |
|-----------------------------|--|---|---|
| 開催日時 | 令和5年 11月9日(木)午後3時00分 | | |
| 開催場所 | 江東区文化センター3階第1, 2研修室 | | |
| 出席者 (敬称略・順不同) | 【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 市古 太郎、川内 美彦、柳井 重人、森本 章倫 【区職員】 都市整備部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、安全都市づくり課長、 都市交通輸送計画担当課長 | | |
| 【議題】 | | 【所管】 | |
| (仮称)江東区臨海部都市交通ビジョン(骨子案)について | | 都市交通輸送計画担当 | |
| 【議事概要】 | | | |
| No | 該当資料 | 委員の意見要旨 | 区の回答要旨 |
| 1 | 資料 2-2 | 区民への意見募集を行うのであれば、都市交通の課題と基本方針の内容を充実させた方がよい。 | / |
| 2 | 資料 2-2 | 課題5の環境負荷の低減について、歩行者や自転車に関する施策も考えられる中で、公共交通の利用促進と設定した考え方は。 | 単位輸送量当たりのCO ₂ 排出量の少ない鉄道等の利用により環境負荷が図られることから、公共交通の利用促進と記載している。 |
| 3 | 資料 2-2 | 2040年代の臨海部全体の交通体系について、文章だけではなく図示されているとわかりやすい。 | 図等を用いたわかりやすい記載となるよう検討していく。 |
| 4 | 資料 2-2 | 新しい人の流れができるので、新駅へのアクセスについて、ビジョンの中でしっかりと記載をしていただきたい。 | 新駅の開業を見据え、短期・中期・長期で行うべき施策を検討していきたい。 |
| 5 | 資料 2-2 | 非常時の交通の確保について、浸水対応型まちづくりビジョンとの整合・連携を図っていただきたい。 | 浸水対応型まちづくりビジョンとの直接の連携はないが、公共交通を充実させることで、結果的に非常時の交通の確保にも資するという視点で整理していきたい。 |
| 6 | 資料 2-2 | 地下鉄8号線をはじめとした新線整備に伴い必要となる取組みについては、開業前までに完了しているロードマップを描いていただきたい。 | / |
| 7 | 資料 2-2 | 課題1の移動需要の増加に対する根拠が読み取れない。わかりやすく記載していただきたい。 | 上位・関連計画における臨海部の将来像では、MICE関連施設等の集客施設が充実されると描かれていることから、それに対する交通が不足していると |

| | | | |
|----|--------|--|------------------------|
| | | | 読み取っている。記載方法については検討する。 |
| 8 | 資料 2-2 | 課題の整理にあたって記載されている項目について、区特有のものとメガトレンドや交通技術の進展等の社会情勢とで色分けするなど、分かりやすく記載していただきたい。 | |
| 9 | 資料 2-2 | 臨海部は訪日外国人からも人気のエリアであり、オーバーツーリズムの傾向があることを記載していければよい。 | |
| 10 | 資料 2-2 | 広大な臨海部のエリアにおいて、人が自由に選べる交通をいかに実現するかを描けるとよい。 | |